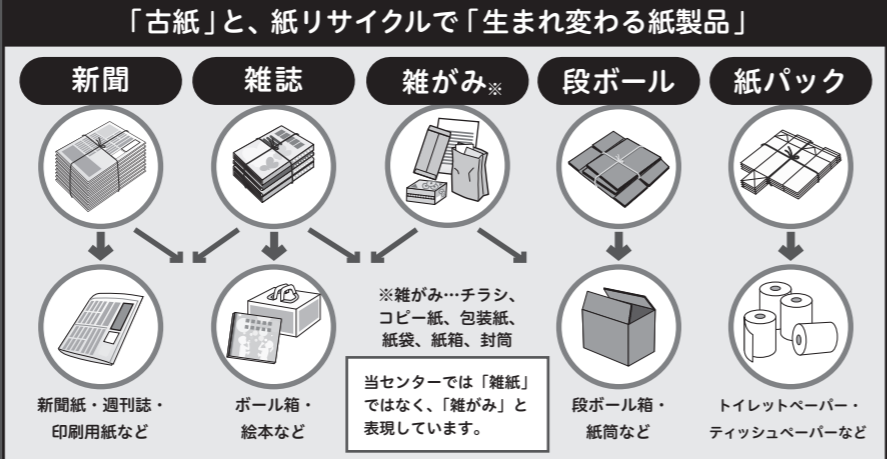


④ ポイント④ 「古紙」と「生まれ変わる紙製品」の種類を理解しよう

古紙の種類と、リサイクルすることによって生まれ変わる紙製品を混同しないよう注意が必要です。

良い例
古紙回収に出した段ボールが、また段ボールに生まれ変わった

悪い例
新聞紙はトイレットペーパーになる



「リサイクルできない紙」があるということ、その種類を理解しているかどうか大きいポイントです。加工した紙や、材質によってリサイクルできない紙があることを、大人も理解する必要があります。

例えば、これらはリサイクルできない紙の一部です
洗剤の箱やにおいのついた紙、フィルム付き封筒、レシート、紙コップ、金銀の光る紙、写真…など

⑤ ポイント⑤ ポスター作品にマークを描く場合は、マークの種類を知ろう

本コンテストに応募するポスター作品に「紙リサイクル」に関するマークを描く場合は、①～⑤のマークを使ってください。

“紙リサイクル”に関するマーク (推奨)

	① グリーンマーク 古紙を原料に利用した製品についています。		② 段ボールのリサイクルマーク リサイクルできる段ボールについています。
	③ 紙パック識別マーク アルミのない紙パックについています。		④ 牛乳パック再利用マーク 使用済みの牛乳パックを原料として使用した商品についています。
	⑤ 再生紙使用マーク 古紙を表示の割合使った再生紙についています。		

紙製容器包装識別マークは、本コンテストの作品には使用しないでください。

紙箱や包装紙などについています。このマークはプラスチック等と複合した紙箱や包装紙などにもついており、紙から紙へのリサイクルができず、固形燃料などに使われるものもあるため、本コンテストでは使わないマークにします。

他にもアルミ缶や、びん、プラスチックなどのリサイクルマークがありますが、本コンテストは「紙」がテーマです。間違えて描いてしまわないよう気を付けましょう。

作品の制作における注意点①

“紙リサイクル”に関しての情報不足からか、正確な内容を把握せず、紙以外のリサイクル等と混同する作品が多々見受けられます。そのため、優秀な作品でありながら、評価の対象外になってしまう作品があります。



一部の応募作品で「紙リサイクルをすることで森(木)を守る、森林破壊を防ぐ」といった内容の作品が見られます。本コンテストは「森林保護について」ではなく、「紙リサイクル」をテーマにしていることを、児童・生徒に再認識させてください。

“紙リサイクル”は、使い終わった紙を新しい紙に再生することです。
「紙をゴミにすることを防ぐこと」であって、「森林破壊を防ぐこと」ではありません。素晴らしい作品であっても、紙リサイクルと森林保護を関連付けて書かれていると、審査の対象外となる場合があります。
紙の原料として、一部利用している木材(パルプ)は端材、あるいは廃材を使用しています。紙を作るために森林を不必要に伐採しているわけではありません。

注目!

- ◆紙を作るために木々を伐採することは森林破壊に繋がる
- ◆森を守ることは地球温暖化防止となるので紙リサイクルをしよう
- ◆紙の無駄使いは森林破壊になるので紙のリサイクルをしよう

「森」がテーマとなっているため、審査の対象外になります。

児童・生徒がテーマ選びに苦労している場合

以下のような、紙リサイクルの課題の解決策について提案する内容もテーマとして考えられます。

リサイクルできる紙がゴミとして捨てられないようにするために、○○したらどうか。	リサイクルできない紙が古紙に混ざらないようにするために、○○したらどうか。
木材(パルプ)よりも古紙を原料にした紙製品を使ってもらうために、○○したらどうか。	古紙回収活動(集団回収活動)を継続していくために、○○したらどうか。

作品の制作における注意点②

書き方や表現によって惜しくも審査の対象外になってしまうキーワードと、その注意点を見てみましょう。

注目!

リサイクルできる紙は「資源」です。「ごみ」ではないため、「ごみを捨てる」、「ごみ捨て場に出す」など、リサイクルされない表現は、審査の対象外となる場合があります。リサイクルする様子表現するときは、右にあるキーワードの使い方に気をつけましょう。
※自治体によっては「紙ごみ」、「資源ごみ」と表現している場合もありますが、当センターでは利用していませんので、本コンテストでも表現しないようにお願いします。

キーワード

リサイクルされる表現

- ・古紙 ・資源
- ・収集所に出す

リサイクルされない表現

- ・紙ごみ ・資源ごみ ・ごみ
- ・ごみに出す ・捨てる